

岡山市の技能労務職員等の給与等の見直しに向けた取組方針

平成20年3月策定

1 現状

(1) 職種ごとの人数・平均給与・平均年齢等のデータ

| 区 分 | 公 務 員 | | | | | 民 間 | | | 参 考 |
|---------------|--------|------------|----------------|-----------------------|---------------------------|---------------------|--------|-----------------------|-----|
| | 平均年齢 | 職員数 (人) | 平均給料月 額 (円) | 平均給与月 額 (円) (A) | 平均給与月 額 (国ベー ス) (円) | 対応する民 間の類似職 種 | 平均年齢 | 平均給与月 額 (円) (B) | A/B |
| 岡山市 | 46歳0月 | 820 | 336,110 | 400,755 | 365,801 | | | | |
| うち 清掃職員 | 41歳8月 | 249 | 308,886 | 424,597 | 349,047 | 廃棄物処理 業従業員 | 43歳4月 | 299,800 | 1.4 |
| うち 学校給食調理員 | 49歳6月 | 224 | 358,464 | 386,181 | 379,798 | 調理師 | 42歳4月 | 233,500 | 1.7 |
| うち 守衛 | 52歳6月 | 11 | 386,173 | 457,040 | 425,672 | 守衛 | 59歳7月 | 229,200 | 2.0 |
| うち 用務員 | 48歳10月 | 128 | 354,245 | 393,640 | 381,655 | 用務員 | 53歳11月 | 227,200 | 1.7 |
| うち 自動車運転手 | 50歳10月 | 41 | 385,671 | 461,231 | 422,639 | 自家用自動 車運転者 | 55歳2月 | 194,300 | 2.4 |
| うち 電話交換手 | 46歳10月 | 9 | 363,133 | 403,960 | 382,552 | | | | |
| うち その他 | 44歳4月 | 158 | 314,742 | 369,814 | 339,646 | | | | |
| 岡山県 | 47歳5月 | 534 | 339,294 | 391,307 | 362,025 | | | | |
| 国 | 48歳10月 | 5,193 | 287,094 | | 320,514 | | | | |
| 類似団体 | 46歳2月 | 497 | 336,337 | 400,483 | 366,001 | | | | |

| 区分 | 参 考 | | |
|---------------|-----------------|------------|-----|
| | 年収ベース (試算値) の比較 | | |
| | 公務員 (円) (C) | 民間 (円) (D) | C/D |
| 岡山市 | | | |
| うち 清掃職員 | 6,730,794 | 4,192,600 | 1.6 |
| うち 学校給食調理員 | 6,517,977 | 3,180,400 | 2.0 |
| うち 守衛 | 7,395,540 | 3,113,600 | 2.4 |
| うち 用務員 | 6,563,245 | 3,284,300 | 2.0 |
| うち 自動車運転手 | 7,704,129 | 2,680,200 | 2.9 |
| うち 電話交換手 | 6,622,984 | | |

民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成16年~18年の3ヶ年平均)

技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

- ・企業規模について、公務員給料の決定は50人以上の事業所を参考にすが、賃金構造基本統計調査は10人以上の企業が対象。
- ・雇用形態について、公務員給料は常勤職員の平均であるが、賃金構造基本統計調査ではパート労働者、アルバイト等を含む。

年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれの平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(2) 年齢別職員数

(平成19年4月1日現在)

| 区分 | 清掃職員 | | 学校給食調理員 | | 守衛 | | 用務員 | | 自動車運転手 | | 電話交換手 | | その他 | |
|---------|------|---------|---------|---------|----|---------|-----|---------|--------|---------|-------|---------|-----|---------|
| | 人数 | 平均給与 | 人数 | 平均給与 | 人数 | 平均給与 | 人数 | 平均給与 | 人数 | 平均給与 | 人数 | 平均給与 | 人数 | 平均給与 |
| 20歳未満 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 20歳～25歳 | 8 | 282,243 | 8 | 191,430 | - | - | 1 | * | - | - | - | - | 1 | * |
| 26歳～30歳 | 17 | 322,158 | 19 | 217,563 | - | - | 6 | 236,206 | - | - | - | - | 15 | 235,393 |
| 31歳～35歳 | 41 | 360,185 | 18 | 261,978 | - | - | 12 | 261,924 | - | - | - | - | 32 | 286,281 |
| 36歳～40歳 | 53 | 403,185 | 8 | 312,707 | - | - | 9 | 322,477 | 4 | 376,495 | - | - | 24 | 341,100 |
| 41歳～45歳 | 51 | 444,818 | 18 | 341,698 | 2 | * | 20 | 362,703 | 4 | 410,499 | 5 | 374,507 | 18 | 388,070 |
| 46歳～50歳 | 48 | 483,124 | 28 | 389,898 | 2 | * | 15 | 402,962 | 14 | 453,952 | 3 | 439,069 | 10 | 402,088 |
| 51歳～55歳 | 21 | 506,853 | 21 | 423,422 | 3 | 487,500 | 22 | 426,633 | 8 | 456,222 | 1 | * | 22 | 425,158 |
| 56歳～60歳 | 10 | 533,397 | 104 | 458,293 | 4 | 501,786 | 43 | 466,418 | 11 | 523,400 | - | - | 36 | 471,976 |
| 合計 | 249 | 424,597 | 224 | 386,181 | 11 | 457,040 | 128 | 393,640 | 41 | 461,231 | 9 | 403,960 | 158 | 369,814 |

個人情報保護の観点から、職員数が1人又は2人の年齢階層がある職種については、*で表示してある。

(3) その他給与に関する事項

ア 給料表

給料表については、平成20年4月1日から国の行政職(二)表と同じ給料表を導入。

イ 各種手当

各支給要件に応じて、扶養手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、休日勤務手当、宿日直手当などを支給。

*平成20年4月1日より年末年始手当(特殊勤務手当)を廃止。

ウ 昇給基準

厳しい財政事情の下、職員の士気を確保しつつ、その意欲と能力を最大限に発揮していくために、年功的な給与上昇要因を抑制した給与システムを構築するとともに、個々の職員の職務遂行能力や勤務実績を的確に把握し、それらを反映した昇給制度の導入を目指している。(改革目標年度 H17年度～H21年度)
なお、本年度より、人事評価の試行として、「新しい昇給制度」に基づく勤務評定を常勤の一般職に属する職員(臨時的任用職員を除く)を対象に実施している。

2 基本的な考え方

国、他都市、民間の給与水準との均衡を踏まえつつ、給与水準などの適正化に努める。

3 具体的な取組内容

ア 定員について

配置基準が法令等で定められている専門職種以外の採用については、原則として平成19年度から3年間凍結しているところである。技能労務職についても、民間委託の推進や、再任用職員、嘱託員、臨時職員など業務実態に応じた雇用形態の採用などにより、適正な職員配置に努める。

イ 給料表・手当等について

給料表については、平成20年4月1日から国の行政職(二)表と同じ給料表を導入。
また、手当等についても、平成20年4月1日より年末年始手当(特殊勤務手当)を廃止するなど、適正化に努めており、今後も国や他都市、民間企業の支給状況と比較して均衡を欠くものなどについては、所要の見直しを進める。

4 その他

技能労務職員配置業務の見直し、民間への業務委託の方向性等

| 改革事項 | 取組内容 | 改革目標年度 |
|-------------------|---|-----------------------------------|
| 電話交換業務の民間委託検討 | 電話交換業務のあり方を検討しながら、民間委託の検討を進める。 | H17年度 ～ H21年度 |
| 守衛業務の民間委託検討 | 守衛業務のあり方を検討しながら、民間委託の検討を進める。 | H17年度 ～ H21年度 |
| 市立養護老人ホームの民営化等の推進 | 総合政策審議会保健・福祉部会の答申を受け、会陽の里は指定管理者制度導入による公設民営に移行しており、また、松風園は施設改築を含めた民設民営を進めるとともに、友楽園については公設公営のまま一部業務の民間委託によって経費節減に努める。なお、玉松園については、新市建設計画において移転改築の計画があり、今後のあり方も含めて検討を進める。 | 会陽の里 H19年度 松風園 H22年度 |
| 市立保育園の一部民営化 | 良質な保育を持続していくため、今後とも市立保育園として担うべき役割を十分に踏まえた上で、民営化ガイドラインを策定し、ガイドラインに基づき可能な保育園から民営化に向けての取組みを推進する。 | H17年度 ～ H21年度 (可能な保育園から実施) |
| 浄化センター運転業務の民間委託推進 | 全ての浄化センターの運転・維持管理業務の民間委託拡大を図る。 | H17年度 ～ H21年度 |
| 家庭ごみ収集業務の見直し | 職員一人当たりの収集量を民間並みに高めるため、収集体制を見直し、より適正な人員配置を行う。また、再任用職員の活用などに努めるとともに、民間委託を視野に入れながら、直営地区の収集のあり方について検討を進める。 | H20年度 ～ |
| 学校給食の民間委託推進 | 第1次中期計画での最終目標である50パーセントを60パーセントに改めてさらに民間委託を進めるべきという学校給食運営検討委員会の提言を受け、官民ともに効率的運営に努めながら民間委託に取り組む。 | H20年度 ～ H24年度 |
| 学校用務員業務の見直し | 修繕、環境整備等の業務の効率化に努めるとともに、子ども支援機能については、他の教育支援制度も含めた仕組みを再検討する。 | H20年度 ～ H21年度 |